

夫婦二人の移住 ～中古物件を購入し古民家再生～ [東広島市]

[建築主]	非公表		
[設計者]	道本 聡	[有限会社 道建設]	TEL : 082-232-6483
[施工者]	若松 敏貴	同上	同上
[企画立案者]	道本 聡	同上	同上



開放的なリビング。無垢材、珪藻土自然素材で仕上げている。欄間を抜き薪ストーブの暖気が全体に広がるように設計している。



和室二部屋と廊下を取り込み、広々としたLDKに変貌させた。



↑ 工事前、ふすまと畳を取り払った状態。奥の和室、廊下、手前に和室が2部屋といったように小分けの間取りだったことが分かる。

◆創意工夫点（若松 敏貴さん）

子育てがひと段落され、夫婦二人の生活となった為、移住を計画されました。古民家に興味をもたれ、空き家バンクでこの物件を見つけられ、購入されました。外壁は、空き家購入時点で張られていたサイディングを全て剥がし、真壁に漆喰を塗り直し、一部腰壁に杉板を下見板張りに仕上げました。内部は30坪程度の小規模な建物なので和室の続き間を全てLDKに改装しました。玄関を入った正面に薪ストーブを設置したことで、この家の表情が作り上げられています。



←ご夫婦二人のため、カウンターでの食事を想定。モザイクタイル(写真奥)を貼りアクセントをつけている。

←奥様こだわりのキッチン。対面キッチンになっておりリビング、庭を見渡せる。



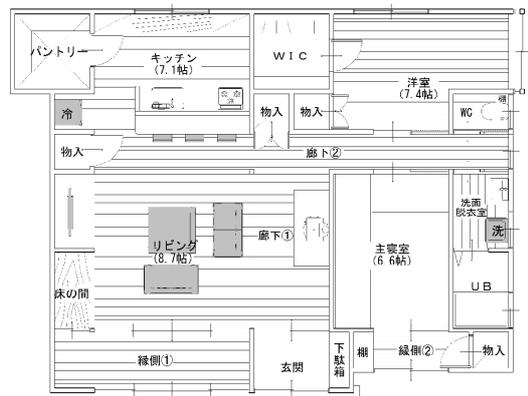
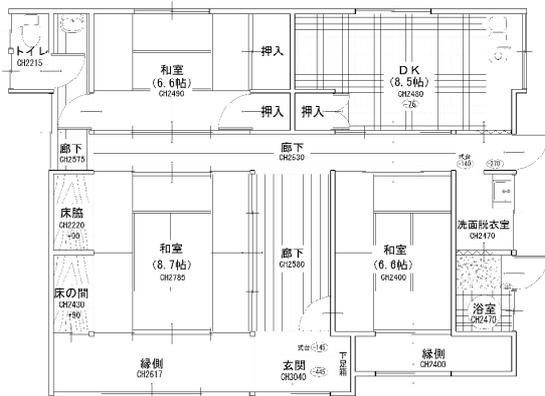
←既存の書院や建具などを活かし床脇にはテレビ台を造作した。ご主人の趣味であるレコードが入るように造作。キッチン横にはウォークインの食品庫、背面には食器棚とカップボードを設けた。

←ご主人のご要望であった薪ストーブ。寒い地域なので大いに活躍している。



←希望の物件を見つけるまでかなりの時間がかかったとのこと。物件購入時は、前所有者が外壁を金属サイディングにしていた。

←金属サイディングを剥がし漆喰、杉板の下見板張りで仕上げ、古民家の風合いを蘇らせた。



作品概要	
構造	木造平屋建て
工事の竣工	令和4年8月
世帯構成	夫婦2人世帯

◆建築主と設計・施工者の主なやり取り

[建築主さん]：薪ストーブを設置したい。

若松さん　：薪ストーブを玄関前に置き家の顔になるように計画します。

[建築主さん]：空き家を買ったが外壁が洋風になっている。外観を古民家風のデザインにしたいのですが可能でしょうか。

若松さん　：土壁の状態を確認する必要があります。状態が良ければ、漆喰、塗装を塗り直し、既存タイル貼りの腰壁を下見板張りで仕上げることで古民家らしい外観にすることが出来ます。

選評 審査委員 川島 満

子育てのひと段落したご夫婦が、空き家バンクの物件を購入し古民家の良さを保ちながら、バリアフリーや断熱などにも配慮し、薪ストーブを設置するなど心が安らぐ空間となっている。

改修にありがちな施工途中での仕様変更などの対応について、施主と工務店との信頼関係の深さも感じられた。

眺望もよく自然が豊かで、ご夫婦で四季を楽しむ姿が目浮かぶような、自分らしいライフスタイルを実現された模範となる好事例である。

選評 審査委員 原 正

子育てがひと段落された、夫婦二人の古民家再生住宅である。和室の続き間をLDKとして改装した空間は二人で暮らすのに丁度よい広さであり、薪ストーブからの暖かいぬくもりは断熱工事がしっかりされた中で二人に安心感を与え主人の晩酌が進みそうである。リビング内障子を開けた時、大開口の縁側サッシから差し込む日差しは昔模様の型ガラスを通して懐かしい雰囲気醸し出し、室内から望む素晴らしい景色は二人の移住を歓迎している様だ。